
公 共 施 設 管 理 の 課 題

— 第 3 回 公 共 施 設 再 配 置 計 画 策 定 検 討 部 会 議 資 料 —

松 本 市

第2章 第3節 公共施設管理の課題

■ 人口減少への対応

- ・総人口は平成 27 年をピークに減少に転じ、平成 27～57 年で 35,000 人減少することが見込まれています。
- ・人口の減少による施設利用の低下を踏まえ、人口減少に対応した施設配置のあり方を検討する必要があります。
- ・具体的には、従来の 35 地区に分散して配置している施設を人口分布に応じて再編することや集約による利用の最適化を図ることが重要です。

■ 少子化への対応

- ・年少人口は平成 27～57 年で 5,000 人減少することが見込まれており、人口の減少による施設需要の変化に対応した施設配置のあり方を検討する必要があります。
- ・市民アンケートでは、小中学校、幼稚園、保育園のあり方について、「校舎の空き教室等を活用して他の公共施設（子どもの施設以外）を集約する」や「小中学校、幼稚園、保育園が一緒になった複合施設にする」等の割合が高くなっています。
- ・具体的には、児童・生徒数の減少によりゆとりのできた教室の他用途を含めた活用や子育て施設としての複合化等が必要です。

■ 施設の老朽化と安全性・耐久性向上への対応

- ・築 30 年以上経過している公共施設は、42.7%（延床面積）に達しており、特に、学校教育施設、住宅施設の割合が高く老朽化が進んでいます。
- ・耐震性がない施設の割合は、文化・コミュニティ施設 14.6%、住宅施設 12.0%となっています。
- ・一般に、鉄筋コンクリート造の建物の場合、築 30 年程度で大規模改修が、築 60 年程度で更新（建替）が必要となるといわれていることから、今後、大規模改修や耐震化により、安全確保や耐久性向上を図っていく必要があります。

■ 施設立地の最適化

- ・現状の施設立地状況をみると、延床面積では南部圏域や中央部圏域が多く、合併圏域で少ないのに対して、施設数では四賀圏域が最も多く、住民一人当たりの面積は奈川圏域、安曇圏域が多いなど、施設配置が偏っています。
- ・今後は、人口分布に対応して住民一人当たりの面積を平準化し、地域バランスに配慮した立地の最適化を図る必要があります。

■ 施設サービスの適正化・効率化

- ・ 今後は、市民ニーズを踏まえ、更新時における施設の集約化を行い、施設サービスの適正化を図る必要があります。
- ・ 運営時間の延長や提供事業内容の改善・拡充など、民間ノウハウの活用等を含めた事業運営の効率化とサービス水準の向上に向けた取組みを図っていくことも重要です。

■ 計画的・戦略的な施設の運営

- ・ 市民アンケートでは、今後の管理運営の取組みとして、「利用されていない施設や土地を売却・賃貸して収入を得る」や「利用目的が同じような施設を集約する」等の割合が高くなっています。
- ・ 直営、委託、指定管理、貸付等の現在の運営形態の見直しを行い、役割を終えた施設の貸付、処分や集約化を図ることが必要です。
- ・ さらに、施設の民営化を含め、利用需要に対する運営の多様化を図り、今後の施設の改修・更新時期を見通し、中長期的な視点による計画的・戦略的なマネジメントに取り組む必要があります。

■ 効果的で効率的な施設の管理

- ・ 改修・更新のやり方を従来どおり続けていくだけでは、改修・更新にかかる経費は莫大になり、ますます厳しい財政状況や行政サービスに重大な影響を及ぼすことが懸念されます。
- ・ 現在の投資額以上のコストを要することが予想されるなかで、総合的な視点で優先順位を付け、「選択と集中」により限られた資源を効果的に活用することが必要です。
- ・ 各施設の使用年数を設定し、経過時（更新時）における対応（建替え、複合・集約化、廃止・除却等）を明確にすることが必要です。

■ 全庁的なデータ管理体制の構築と開示による官民協働・連携

- ・ 減価償却費や人件費等を含めた施設の維持管理に関するコストに加え、利用・効果に関する状況等のデータについても、的確に把握・分析する必要があり、施設のデータベース化を含めたデータの一元管理や部局横断的な体制整備などを含めて全庁的なデータの整理・収集、管理体制を整備することが必要です。
- ・ マネジメントを行う上では、施設の実態に関する問題意識や情報を市民と共有しながら推進することが重要ですが、市民アンケートによれば、「松本市公共施設等総合管理計画」について、8割以上が「知らなかった」と回答しています。
- ・ そのため、施設にかかるコストや利用の実態に関するデータの分析評価の結果をわかりやすく開示し、市民との協働や民間事業者等との連携により施設の改善策やあり方を検討していくことが求められています。